

2分でわかる義肢装具技術研究部

義肢装具技術研究部

近年、高齢化や生活習慣病の増加にともない、切断者も高齢かつ糖尿病などの合併症を抱えている、といった難しいケースが増えています。また、平均寿命が長くなり、ライフスタイルや価値観が多様化し、義肢のパーツが進化していることなどから、切断者のQOL向上への要望は高まっています。以上のように、義肢に求められるものは今まで以上に高度化・複雑化していると考えられます。義肢装具技術研究部は、切断と義肢に関する専門の研究組織として、ニーズの把握と、それに応じた義肢やリハビリテーションを普及させるための調査や開発を行うことを使命としています。

当研究部の特徴は、研究所の一部門でありながら臨床設備を有していることです。これによって病院の1スタッフとして切断と義肢に関する臨床的な観点からの課題を発掘することができ、研究テーマとして検証した成果を、臨床の場面にフィードバックすることができます。

義肢装具技術研究部は、前例の少ない難症例に対するリハビリと義肢製作の経験についてもその成果をまとめ、情報発信に努めています。また、実験や評価のための装置の開発なども行い、それらを用いた計測や臨床現場での活用も行っています。近年は切断者からの要望が高まっている障害者スポーツに関する研究や、調査にもとづいて国の政策に提言する研究課題などもあります。

このように当部では義肢に関連する幅広い研究課題に取り組んでいます。